

東京

東京編集部

〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2

☎ 03-3275-8747
FAX 03-3275-8975
shuto@sankei.co.jp

広告 042-525-4138

購読申し込み
0120-81-2950

配達・集金
0120-34-4646

紙面・記事
03-3275-8864

03-3275-8864

Web
<http://sankei.jp.msn.com/region/region.htm>

あすのこよみ

(3日)

□□7月25日
《先勝》



月齢	24.0
日出	5:14
日入	18:06
月出	23:59
月入	14:01
満潮	14:35
	22:29
干潮	5:46
	17:55
長潮	(東京)

住民結集 防災うたう

大田区の自治会有志が、災害への備えを歌にしたCDを自主制作した。タイトルは「防災バカ」。へあんた平和バカ おいら防災バカ 同じバカなら備えにゃ損そん〜など、歌詞のインパクトは十分。交流が希薄といわれる都心で地道に続けてきた15年間の防災活動の集大成だ。

災害への備え歌に CD自主制作

制作したのは、大田区山王3・4丁目自治会有志でつくる「防災協力隊」。細い坂道が多い同地区で、初期消火と救助を自力で行おうと、阪神大震災翌年の平成8年に数人で発足した。隊では消火ポンプを設置して、操作訓練をするなどしたが、当初は若手の参加がふるわなかった。

そこで、30〜40代にも参加してもらおうと、9年から夏に「こどもまつり」を開催するなどの地域活動を実施。年々参加者が増え、現在は約60人になった。隊員を中心に3年前にバンドが誕生し、防災ソングづくりが始まった。

自主制作CDは8曲入りで、全曲オリジナル。災害の備えを歌う「防災ロック」ク、心の支えが主題の演歌「避難所の夜」、交流の尊さを伝える「山王サンバ」、3歳児が歌う「報知器マーチ」などバラエティー豊かだ。

「ひとりりで抱え込まないで、ここに逃げ込めばいい」で始まるバラード「坂の上の広場」は、地域の避難所を周知している。

制作に参加した萩原千史さん(55)は「歌が人を巻き込む力は絶大で、小学校の先生や道路を隔てた住民も加わってくれた」。多くの人が作詞、作曲、演奏に参加し、1枚のCDに仕上がった。



「山王防災こどもまつり」で、CD「防災バカ」の曲を披露する住民
＝8月22日、大田区山王

て培ったきずなを大切に、災害に備えます」と話している。

曲はインターネットで聴けるほか、CDを500円で販売中。問い合わせは萩原さんの電子メール cbcc0433@nifty.com。